

(仮称) 益田市中山間地域振興基本計画 (案) パブリックコメント実施結果について

○公募期間 令和7年9月19日から令和7年10月10日まで
○提出者数 6名、小学校5.6年生 (6名)
○意見総数 17件

「(仮称) 益田市中山間地域振興基本計画 (案)」に対するパブリックコメントを実施した結果、次のようなご意見をいただきました。貴重なご意見をいただきまして、大変ありがとうございました。
いただいたご意見に対する市の考え方は次のとおりです。
なお、ご意見については、章や基本目標、基本施策ごとに分類して掲載しております。

番号	ページ				
1	9	第2章 中山間地域の現状と課題			
		2 本市の喫緊かつ重要な課題及び今後検討が必要となる課題			
		(1) 地区の実態に応じた「地域づくり」「ひとづくり」における推進体制の構築			
		③公民館の現状と課題			
		ご意見の内容 (原文)	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		地域からの相談役や各種団体の事務局を担っていることから公民館本来の仕事ができていないのではないかと、地域自治組織の活動と公民館活動で活動する人材が重複するため次を担う人材が育たない。	- 公民館について、地域住民の相談や各種団体の事務局を担っていることから、本来の業務ができていないのではないかと - 地域活動を行う方が重複しており、次世代の人材の育成が進まない	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 ご指摘のとおり、現体制の課題については、計画本文9ページで記載しているとお認識しているところです。 今後、本計画に基づき、地域自治組織を調整役とした地区別の地域づくり体制を構築する中で、公民館を含む多様な主体の役割を明確にし、魅力的な地域づくりを実現するための体制づくりに努めたいと考えています。 また、地域づくりの担い手の育成と確保の推進は各地区に共通する喫緊の課題と言えます。持続可能な地域づくりのため、引き続き、「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、「未来の担い手づくり」「産業の担い手づくり」「地域の担い手づくり」に取り組むとともに、行政としては関係各課が連携して地域に向き、地区外からの担い手確保・育成を始め、地域の課題解決に取り組みたいと考えております。	無
2	19	第4章 戦略と施策の内容			
		1 重点戦略			
		(1) 地域自治組織を調整役とした地区別地域づくり体制の構築			
		①地区別地域づくり体制の考え方の再認識			
		ご意見の内容 (原文)	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		19ページ中段の文章「各地区のまちづくりプラン（区切る）地域自治組織が～」の文を区切りよくする。「各地区のまちづくりプラン（を）地域自治組織が～」とする。	「～プラン」と「地域自治組織が～」の間を「区切る」か「を」を挿入してはどうか	【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】 計画案の指摘箇所について、次のとおり修正します。 「各地区のまちづくりプランを地域自治組織が～」	有
3	21	②地区別地域づくり体制を構築するための行政の役割			
		ご意見の内容 (原文)	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		根本として公民館、応援隊員の給料を上げ隊員は2名いれば動きが違うと思う。	（地区別の地域づくり体制を構築するにあたり）公民館職員、地域魅力化応援隊員について適切な人件費を計上すること、また、地域魅力化応援隊員については複数名雇用してはどうか	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 公民館職員及び地域魅力化応援隊員は益田市の職員であり、その賃金の決定については一定のルールにより決定しています。また、地域魅力化応援隊員は地域自治組織を中心とした地域づくりの支援を担う職員として配置していますが、地域自治組織の運営の円滑化及び収益事業などに取り組む地域に対しては地域魅力化応援隊員の配置から、地域自治組織において直接雇用する地域マネージャー制度に移行していただいており、市はその雇用に係る経費を支援しております。地域マネージャーの雇用については各地域自治組織の考えにより複数名配置している地区もあり、さらなる地域自治組織の活動の充実に向けて、地域の実態に応じた柔軟な体制で運営できるよう、引き続き支援を行いたいと考えております。	無

4	23	(3) 集落の「縮充」に対する具体的対応			修正
		②無住化が危惧される集落のあり方の検討と行政の役割			
		ご意見の内容（原文） 計画期間が第6次益田市総合振興計画に合わせた令和8年度から令和12年となっているが無住化が危惧される集落は少しでも早い実行が求められます	ご意見の概要 ・無住化が危惧される集落に対する対応は速やかに実施してほしい	市としての考え方 【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 本市には、無住化が危惧される「危機的集落」を擁する地区が令和7年7月末時点で6地区存在しています。そのあり方の検討については、計画13ページにおいて「喫緊かつ重要な課題及び今後検討が必要となる課題」と位置づけており、重点戦略として取り組むこととしております。無住化が危惧される集落のあり方については、住民自らが考えて決断していたかなくてはなりません。そのために市としましては地域住民に様々な情報を提供しながら、様々な意見交換の機会を設けたいと考えております。	
5	24	2 基本戦略			修正
		(1) 中山間地域を支えるひとの確保（ひとづくりと「関係人口」の創出）			
		ご意見の内容（原文） 市内とは違い限られた人材の中で担い手を探すことは中山間地域においては困難を極めます。若い方は自身の家庭生活で手一杯となり、地域活動への協力は2番目3番目となっているのが現状と推測されます。 そこで、関係人口となりますが、新しい風がどの地区にも必要です。その先駆けとして、県・市の職員またユタラボ等若い人材を各公民館に1カ月配属してはどうかと考えます。その新しい風をきっかけに協力者がでるかもしれませんし、違う目での意見も出る考えます。一度に全ての館ではなく計画的に行えば少ない人選で済むと考えます。いずれの地区もすぐに協力的人材が出てくればこのような問題は発生しません。その部分をまず補う施策を取ってはどうか！	ご意見の概要 ・特に周辺地域では人材確保が困難 ・関係人口の確保が必要となるが、その先駆けとして、1ヶ月程度、県・市の職員またはユタラボ等、若手職員等を公民館に配置してはどうか	市としての考え方 【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 人口減少と少子高齢化の進行が避けられない見通しであることから、ご提案いただきました関係人口の確保及びその有効活用もより一層重要と考えており、中間支援組織などとも連携し、関係人口の拡大を進めたいと考えております。 また、県・市の職員またユタラボ等若い人材を1カ月程度、公民館に配属するというご提案ですが、現状では困難と考えます。ただし、市では市民と行政の協働体制を構築し、市民と行政が一体となって地域課題の解決を図ることにより、住み続けられる地域づくりを実現することを目的に、庁内の横断的組織である協働推進ネットワーク庁内会議の充実に向け検討しているところです。現在、この協働推進ネットワーク庁内会議の見直しを行っているところであり、まずは、関係各課と地域の多様な主体がチームで地域の課題解決に取り組む仕組みを構築することで、地域課題に地域住民と行政が協働で取り組む体制を構築したいと考えております。	
6	27	3 施策の内容			修正
		基本戦略 1			
		④関係人口の創出及び移住・定住の促進			
		ご意見の内容（原文） 定住の促進とあるが、定住される方の働く場の確保や働きやすい環境の充実についても必要ではないかと思う。	ご意見の概要 ・定住促進のためには、働く場の確保や働きやすい環境の充実についても必要ではないか	市としての考え方 【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 UIターン者や若者など多様な人材の雇用の場の創出とともに、企業の魅力向上、職場環境の整備などへの取組みを宣言する企業を「益田市UIターン者サポート宣言企業」として登録し、益田市への移住・定住を望むUIターン者や若者が、益田市でのより快適な生活を実現し、地域の力となるようUIターン者等へ支援を行う企業の拡大を目指しているところです。引き続き、こうした取組を推進することで移住・定住の促進を図りたいと考えております。	
7	28	基本戦略 2			修正
		②買い物・燃料確保支援対策の推進			
		ご意見の内容（原文） 移動販売の止まる所を増やし、高齢者の利用を増加または、公民館で預かり、配送できる仕組み。	ご意見の概要 ・高齢者の買い物支援対策として、移動販売の実施か所を増やしてはどうか ・また、公民館で商品を預かり、配送できる仕組みを構築してはどうか	市としての考え方 【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 買い物支援の取組については、例えば、ローソン移動販売、移動スーパーとくし丸、生協しまねと連携した買い物支援など、多くの地域で進められているところです。特に生協しまねが地域自治組織と連携した配送は県内でも初の取組で（R6.5.22時点）、週1回、生協が匹見下公民館まで配送。公民館で仕分けし、住民ボランティアが自家用車で宅配をしています。こうした取組を継続しつつ、行政と地域自治組織そして必要に応じ、民間事業者とが協働し地域課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。	
8	28	お店や、自動販売機が少ないので、増えると便利だと思う。	・（特に周辺部について）商店や自動販売機が少ないので増やしてほしい	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 かつて、各地区でも多くの人が暮らしていた時代には、各地区に商店もあり、賑わっていました。全国的に人口が減少する時代に入り、流通システムも変化してきている中で、以前のような賑わいを創っていくことは難しくなっています。人口が減っても誇りと生きがいを持って豊かに暮らしていくことができる「縮充」の中山間地域を実現していきたいと考えています。	無

9	29	③草刈・除雪対策の推進			
		④道路インフラの維持・整備			
		ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		通学するのに道路や歩道がデコボコしていて歩きづらい。また、草も生えており歩道が狭くなっているため、高齢者の方々も歩きづらいと思う。しかし、地域の方々は、道路の清掃や学校の周辺の草刈りなどをされており感謝しているが、地域の皆さんの人数も減っていてとても大変そうだ。	・通学路について、道路整備をしてほしい ・地域住民が道路の清掃や学校周辺の草刈りを行っているが、担い手が不足している	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 市道の維持管理は市において計画的に行っていますが、交通状況の変化や経年劣化などから、老朽化が進行し、修繕が追いつかないといった状況も出てきています。こうした中、市では「私たちのみち事業」や「市道除草（愛護団体）事業費」などで、地域の皆さんのお力も借りながら、道路の維持管理に努めているところです。しかしながら、高齢化等の理由により、担い手の確保が困難となる地区もでてきていることから、これらの課題について、引き続き計画的な維持管理に努めるとともに、草刈については、新たな団体等の参入の促進や新技術の活用等さまざまな角度から対策を講じ、市民の皆様との協働による環境づくりや課題解決を図っていききたいと考えております。	無
10	31	⑧地域医療体制の確保			
		ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		無医地区における医療体制について、歯科などの専門家の医療についても検討してもらえると良い。高齢者の歯科検診を市が進めておられるが、受ける人が少ないと聞いたので身近で受けれると良いと思った。	・高齢者の歯科検診の受診者が少ないと聞いており、対策を検討して欲しい	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 歯科検診については、市内の21歯科医院で実施しており、健康づくりガイドブックや市広報等で周知啓発をしています。引き続き、各地区健康づくりの会等で、歯科検診の重要性を啓発し受診率の向上に努めていききたいと思います。また各地区において、歯科衛生士による健康教育を実施し、市民の口腔機能維持・向上に向けた取組を継続していきます。 医療体制の確保については、今後ますます深刻な状況になる可能性があるものと認識しております。市としては、体制の確保に加え、市民に対する健康意識の啓発を進めることで、健康寿命の延伸を図っていききたいと考えております。	無
11	32	基本戦略3			
		②伝統文化や芸能等の継承			
		ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		伝統芸能（神楽）を習っているが、子ども神楽を披露する場が少ない。合わせて、伝統芸能を披露する場が少ないので、見る機会が増えれば伝統芸能を習う子どもたちも増えて魅力ある益田市になると思う。市内でのイベントは多いが田舎でも開催して欲しい。	・伝統芸能を披露する場が少ない（特に子ども神楽）	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 石見、益田の人たちの生活の一部とも言える石見神楽が今後も継承されるため、一般社団法人益田市観光協会や一般社団法人MASUDAカグラボと連携し、地域の魅力が次世代に継承される好循環が生まれやすくなるよう意識するとともに、近年では広島広域都市圏協議会の取組で子ども神楽の上演機会が創出されており、これらも活用しながら、市民を主体とした石見神楽の上演機会の創出を支援していきます。	無
12	33	③自然環境・景観の保全（有害鳥獣被害及び遊休農地・耕作放棄地対策の推進）			
		ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		学校農園をしているが、イノシシが学校にも出るようになった。また、クマの出没の話もよく聞くので、対策が必要だと思う。クマ鈴はつけているが心配。	・学校農園にイノシシが出没している。クマの出没も増加しており、対策が必要	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 これらの対策といたしましては、捕獲檻の追加購入や、放任果樹の伐採対策、または、上空からのレーダー測量による生態調査を実施することにより、鳥獣被害軽減に繋がてまいりたいと考えております。 あわせて、県や警察、猟友会と連携しながら、迅速な現場対応と情報収集・住民への周知を徹底し、市民の安心・安全な生活が維持できるよう努めてまいります。	無

13	36	第5章 計画の推進体制			
		1 計画の進行管理と推進体制			
		ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		本市における喫緊の課題の一つとして、中山間地域の振興が掲げられ、このことから、「益田市中山間地域振興基本条例」及び「益田市中山間地域将来ビジョン」をもとに、この計画において、具体的な施策や今後の取組の方向性について示すものと思っております。 今回の計画策定で、具体的な施策や今後の取組の方向性について示すことも重要ですが、その後の進行管理と推進体制も必要不可欠であるものと思います。ついては、確実な進行管理と推進体制の構築を願うところであります。 「1 計画の進行管理と推進体制」の本文中において、「進行管理」と「進捗管理」の表現がありますが、『進行管理』とは、計画全体の流れを「管理・調整」する広い概念、『進捗管理』とは、計画の実行段階で具体的な「状況の確認と軌道修正」を行う活動と思われ、『進行管理』という大きな枠組みの中で、『進捗管理』は基本的なタスクの実行段階における重要な一部門と捉えるものではないかと思えます。 このことから、現在の記述内容から推察すると、本計画の「進行管理」は、総合振興計画・総合戦略で進行管理（進捗管理？）を行い、「進捗管理」は、「（仮称）益田市中山間地域振興会議」を設置して行おうとしているものなののでしょうか。そのような格式ばった会議ではなく、率直に意見が出しあえる場が必要と考えますがいかがでしょうか。 また、推進体制として、庁内での推進体制の構築も必要ではないかと考えますが、その記述がないようですが、どのように対応されるのでしょうか。 以上のことを踏まえ、「第5章 1 計画の進行管理と推進体制」の部分について、より分かりやすい記述に見直しを望むところであります。	・本計画の「進行管理」は、総合振興計画・総合戦略で進行管理を行い、「進捗管理」は、「（仮称）益田市中山間地域振興会議」を設置して行おうとしているものか。率直な意見が出しあえる場が必要と考える ・また、庁内での推進体制の構築も必要	【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】 ○「進行管理」と「進捗管理」の表現に関すること ご指摘のとおり、『進行管理』とは、計画全体の流れを「管理・調整」する広い概念、『進捗管理』とは、計画の実行段階で具体的な「状況の確認と軌道修正」を行う活動であり、『進行管理』という大きな枠組みの中で、基本的なタスクの実行段階を「進捗管理」でチェックするという認識が適切であろうかと思います。 原文の趣旨としましては、本計画が上位計画である「第6次益田市総合振興計画」及び「第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」並びに関連計画を実施する際の具体的な考え方が「中山間地域の振興」という重要な目的に沿ったものとなるような指針を定めるものであることから、“計画に記載のある基本戦略に基づく具体的な取組”の『進捗管理』は「第6次益田市総合振興計画」及び「第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の『進捗管理』をもって替えることとし、計画全体の『進行管理』については（仮称）益田市中山間地域振興会議を設置し行うこととしたい、というものです。 しかし、文章の流れが『進捗管理』の手法が先に出て、『進行管理』の手法がその後に出るなど、分かりづらい表現となっていることから、より分かりやすい記述となる方向で修正を行います。また、ご意見のとおり、より率直な意見が出される場の設置について、検討したいと考えております。 ○庁内での推進体制の構築に関すること ご指摘のとおり、推進体制として、庁内での推進体制の構築が必要と考えます。庁内連携体制についてはこれまで、協働推進ネットワーク庁内会議を設置してきましたが、計画21ページに記載のあるとおり、地区別の地域づくり体制を構築するため、庁内連携体制（協働推進ネットワーク庁内会議）を再構築するとともに、意見交換や学び合いの場であるまちづくりラウンドテーブル（MRT）など、多様な主体と行政の協働体制を構築し、施策に反映するよう引き続き、努めてまいります。	有
資料編					
14	資-14	ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		14ページ 用語解説に「ファシリテーター」「コーディネーター」を加える。	・用語解説に「ファシリテーター」「コーディネーター」を追加してほしい	【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】 用語解説に「ファシリテーター」「コーディネーター」を加えます。	有
15	－	その他			
		ご意見の内容（原文）	ご意見の概要	市としての考え方	修正
		地域が賑やかで楽しくなるような仕組みを考え、人口が増え沢山のお友達ができると嬉しい。	・地域が賑やかになり、人口が増加し、友達がたくさんできると良い	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 少子高齢化が進み、我が国の総人口は、平成20年（2008年）の1億2,808万人をピークに減少しており、令和2年（2020年）の1億2,615万人が令和52年（2070年）では8,700万人となり、約3割の人口が減少すると見込まれています。 また益田市の総人口についても年々減少傾向にあり、総合戦略で目標としていた令和7年度の43,523人の確保は難しい状況です。しかし、近隣の自治体と比べ、人口減少が比較的緩やかな傾向となっており、益田市の人口減少の取組がある程度、成果が出ているのではないかと考えており、第6次益田市総合振興計画で目指している「ひとが育ち輝くまち益田」を実現することで、市外の方からも魅力を感じてもらえるまちづくりを続けたいと思っています。 そうした中、この度、計画を策定することで、地域で暮らす人々がその地域に愛着を持って豊かに暮らしていくことができるようになると良いと思っています。 ご意見のように、地域が賑やかになって、もっと地域を盛り上げようとする仲間がたくさん増えていくよう、地域と一緒に考えていきたいと思っています。	無
16	－	市内には公園がありトイレも設置してあるが、田舎には屋外トイレが設置されていないので不便だと思う。子供も高齢者の方も、初めて訪れた方々も助かると思う。	・特に周辺地域において、屋外トイレがあると子ども・高齢者、また、初めて訪れた方も助かる	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 地域を初めて訪れた方にとって、屋外で利用できるトイレがあることは安心感につながり地域の印象が良くなることと考えられます。そのことから、例えば、公民館をはじめとした公共施設など誰でも使用可能なトイレの案内を実施するなど、子どもや高齢者、初めて訪れた方でも安心して関わりが持てるよう、地域で話し合いができる環境を作っていくと考えております。	無
17	－	都会から新しい情報を取り入れる。	・（対策にあたり）新しい情報を取り入れてほしい	【計画案の修正は行いませんが、今後の施策の参考とさせていただきます】 今やインターネットなどから新しい情報に触れる機会が多岐に渡っています。こうした情報を取り入れながら都会にはない益田市での持続可能な生活に繋がられるよう、多様な主体と行政との協働により取り組みたいと考えております。	無